

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネス英語 I	英語名	Business English I		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次	学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位	履修区分	必修
授業概要	日常生活や大学生活に身近なテーマを扱い、映像教材を用いたリアルな会話の聴き取りや、読解を行います。ペアワークやグループワークなどのアクティビティを豊富に取り入れ、自分の意見や状況を英語で発信・表現できる実践的なコミュニケーション能力の基礎を養います。				
到達目標	自分の意見や自身の状況を基礎的な英語で表現することができる				
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）				
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。				
授業計画	1 ガイダンス & Unit 1 My Social Life（社会生活） 2 Unit 2 A Day Out in the City 3 Unit 3 On the Go 4 Unit 4 Enjoying Food 5 Unit 5 Buying Groceries 6 Unit 6 In Style 7 Review 1 & 中間振り返り 8 Unit 7 What Makes You Special? 9 Unit 8 In the Mood for a Movie 10 Unit 9 Make the Most of Your Time 11 Unit 10 Working Out 12 Unit 11 A Healthy Lifestyle 13 Unit 12 How's the Weather? 14 Review 2 & 単位認定試験				

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネス英語 II		英語名	Business English II	
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位	履修区分	必修
授業概要	本授業では特に「音読（Read Aloud）」に重点を置き、正しい発音やリズム、イントネーションを身体で覚えることで、基礎的な文法や表現をしっかりと定着させ、海外生活で物怖じせずに意思疎通ができる実践的なコミュニケーション能力の基礎を養います。				
到達目標	音読を通じて正しい発音やリズム、イントネーションを身につけ、基礎的な文法や英語表現ができるようになる				
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☒ その他（ ）				
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。				
授業計画	1 ガイダンス & Unit 1 This is my first trip abroad. 2 Unit 2 Do you have anything to declare? 3 Unit 3 How was your flight? 4 Unit 4 Feel tired? 5 Unit 5 What are we going to do...? 6 Unit 6 It's called Mountain Grove. 7 Unit 7 How would you like your steak? 8 Unit 8 How long have you felt this way? 9 Unit 9 I think I'm lost. 10 Unit 10 Do you want me to take your picture? 11 Unit 11 I've lost my phone. 12 Unit 12 I love roller coasters! 13 振り返り & 音読テスト 14 単位認定試験				

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネス英語 Ⅲ		英語名	Business English Ⅲ	
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位	履修区分	必修
授業概要	授業では、ダブルパッセージ問題などを通じて実用的な読解コツを学ぶとともに、英語の「速読力」を鍛えます。また、パラグラフ・ライティングの基礎を穴埋め問題などから段階的に学び、最終的には自身の意見を論理的な英文でアウトプットできるよう指導します。				
到達目標	実用的な読解のコツを習得し、英語を早く読んだり、自分の意見を簡単に表現できるようになる				
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☒ その他（ ）				
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。				
授業計画	1 ガイダンス & Unit 1 College Life 2 Unit 2 Understanding Copyright 3 Unit 3 Cyberbullying 4 Unit 4 Tourism 5 Unit 5 Foreign Encounters 6 Unit 6 Entertainment 7 中間総括 & 前半レビュー 8 Unit 7 International Affairs 9 Unit 8 Technology 10 Unit 9 My Future 11 Unit 10 Personal Finance 12 Unit 11 Health 13 Unit 12 Diversity 14 単位認定試験				

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネス英語 IV		英語名	Business English IV		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修選択
授業概要	多様な英語のアクセントや表現に触れながら、グローバルなビジネスシーンで通用する英語コミュニケーション能力の土台を養います。様々な職種のリアルなストーリーを通じて異文化理解を深めるとともに、受講生自身のキャリアや将来の人生観について主体的に考える機会を提供します。					
到達目標	グローバルなビジネスシーンで通用する英語コミュニケーション能力を身につける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 ガイダンス & Interview 1 Promoting Diversity and Inclusion in Travel 2 Interview 2 Living Creatively in a Community 3 Interview 3 Connecting People Through Humor 4 Interview 4 Building Relationships Through Importing 5 Interview 5 Making the Jump Into Freelancing 6 Interview 6 Creating Education That Works for Everyone 7 Interview 7 Listening to Your Inner Artist 8 Interview 8 Communicating Across Cultures 9 Interview 9 Striking a Chord With People 10 Interview 10 Cooking and Working With the Seasons 11 Interview 11 Finding the Right Career Path 12 Interview 12 Sharing Japanese Culture With the World 13 Interview 13 Doing Research With Real-World Impact 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネス文書作成（word）		英語名	Business typing skills (Word)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	前期
授業形態	演習	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修
授業概要	マイクロソフト社の文書作成ソフトであるワードの操作方法を学び、会社の仕事で必要なビジネス文書作成ができる力を身につけます。					
到達目標	マイクロソフト社のWordの基本操作から多様な機能を用いた編集までを学び日本語ワープロ検定4級または3級の資格取得を目指す					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☒ その他（ 資格試験 ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、課題提出（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 Wordの基本操作、文字入力と修正 22 ワープロ検定試験の演習 2 Wordの基本操作、文字入力と修正 23 ワープロ検定試験の演習 3 入力練習（ひらがな・カタカナ） 24 ワープロ検定試験の演習 4 入力練習（ひらがな・カタカナ） 25 ワープロ検定試験の演習 5 入力練習（英数字・記号・漢字） 26 ワープロ検定試験の演習 6 タイピング練習（短文・長文） 27 ワープロ検定試験の演習 7 文字修正の練習 28 ワープロ検定試験の演習 8 ファイルの保存と呼び出し 29 ワープロ検定試験の演習 9 ビジネス文書の作成 30 ワープロ検定試験の演習 10 段落の編集機能 31 ワープロ検定試験の演習 11 フォントの編集機能 32 ワープロ検定試験の演習 12 表の作成と編集① 33 ワープロ検定試験の演習 13 表の作成と編集② 34 ワープロ検定試験の演習 14 画像の挿入 35 ワープロ検定試験の演習 15 ワードアート 36 ワープロ検定試験の演習 16 図形描画 37 ワープロ検定試験の演習 17 テキストボックス 38 ワープロ検定試験の演習 18 スマートアート 39 ワープロ検定試験の演習 19 段組み 40 ワープロ検定試験の演習 20 ドロップキャップ 41 単位認定試験 21 ページ罫線 42 フィードバック					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	情報処理（表計算）		英語名	Data processing(Excel)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	後期
授業形態	演習	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修
授業概要	マイクロソフト社の表計算ソフトであるエクセルの操作方法を学び、会社の仕事に必要な表作成、グラフ作成、データベース機能ができる力を身につけます。					
到達目標	マイクロソフト社のExcelの基本操作を学び、表やグラフの作成、データベース機能を活用できる力を身につける。最終的に情報処理技能検定3級の取得を目指す					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☐ 課題 ☒ その他（ 資格試験 ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 データの入力と修正					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネスコミュニケーション		英語名	Business communications		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修
授業概要	日本に関する社会的・文化的なテーマについて理解を深めながら実践的な日本語運用力を養うことを目的とします。リサーチ、グループでのディスカッション、およびプレゼンテーションを通じて学術的・社会的な活動に対応できる総合的なコミュニケーション力を身につけます。					
到達目標	日本に関する社会的・文化的なテーマについての理解を深め、相手の意見を尊重しながら自分の意見も表現できるようになる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション 2 L1：日本の住まい (1) 導入 3 L1：日本の住まい (2) 読解とタスク 4 L2：伝統芸能・文化 (1)導入 5 L2：伝統芸能・文化 (2)読解 6 L2：伝統芸能・文化 (3)プロジェクト 7 L3：多様な食文化 (1) 導入 8 L3：多様な食文化 (2) 読解とタスク 9 L3：多様な食文化 (3) プロジェクト 10 前半の振り返り 11 L4：防災と安全 (1)導入 12 L4：防災と安全 (2)読解とタスク 13 L4：防災と安全 (3) プロジェクト 14 L4：防災と安全 (4) プロジェクト発表 15 L5：教育と自己認識 (1) 導入 16 L5：教育と自己認識 (2) 読解とタスク 17 L5：教育と自己認識 (3) プロジェクト 18 L5：教育と自己認識 (4) プロジェクト発表 19 L6：環境と消費 (1) 導入 20 L6：環境と消費 (2) 読解とタスク 21 L6：環境と消費 (3) プロジェクト 22 L6：環境と消費 (4) プロジェクト発表 23 総合プロジェクト (1) 24 総合プロジェクト (2) 25 総合プロジェクト (3) 26 総合成果発表会 (1) 27 総合成果発表会 (2) 28 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネスマナー		英語名	Business manners		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修
授業概要	日本の会社で働く場合、不可欠なビジネスマナーの基本を体系的に学びます。挨拶、言葉遣い、身だしなみ、電話応対、訪問・来客対応、メール・文書の書き方など、実際のビジネスシーンを想定した実践的なマナーを習得します。					
到達目標	日本の会社で働くうえで不可欠となるビジネスマナーの基本を身につけ、外国人実務能力検定の合格を目指す					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 社会人の基本とビジネスマナーとは 2 あいさつ・表情・態度 3 敬語・言葉遣いの基本① 4 敬語・言葉遣いの基本② 5 名刺交換と自己紹介 6 電話応対の基本 7 来客対応と訪問マナー 8 社内・社外メールの書き方 9 報連相（報告・連絡・相談）の実践 10 総合演習①：ビジネス場面ロールプレイ 11 総合演習②：模擬職場対応&ふりかえり 12 資格試験模擬演習 13 資格試験模擬演習 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネス行動論 I		英語名	Business behavior I		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修
授業概要	動画の視聴や事例分析を取り入れながら、「なぜその言葉を選ぶのか」という言動の背景やビジネスマナーを深く理解します。ロールプレイングやケーススタディを中心とした実践的な演習を重ねることで、多様な接客現場において自発的かつ柔軟に対応できるコミュニケーション力を養います。					
到達目標	多様な接客現場にいて自発的かつ柔軟に対応できるコミュニケーション力を養う					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション 2 第1課：美しい姿勢と笑顔 3 第2課：温かい迎え方 (1) 4 第2課：温かい迎え方 (2) 5 第3課：心を通わせる会話 (1) 6 接遇ロールプレイング① 7 第4課：分かりやすい案内 (1) 8 第4課：分かりやすい案内 (2) 9 第5課：スムーズな提案 (1) 10 第5課：スムーズな提案 (2) 11 中間振り返りと事例研究 12 第6課：確実な確認と引き継ぎ (1) 13 第6課：確実な確認と引き継ぎ (2) 14 第7課：誠意あるお詫び (1) 15 第7課：誠意あるお詫び (2) 16 第8課：感謝を込めた見送り 会計 17 接遇ロールプレイング① 18 接遇ロールプレイング② 19 トータル接客ロールプレイ 20 宿泊職種・接客業 実戦演習 (2) 21 前半の振り返り 22 出社・挨拶の基本 23 指示を受ける・進捗報告 24 質問する・アドバイスを求める 25 許可を求める・有給の申請 26 スケジュールの調整 27 中間ロールプレイ①（社内編） 28 電話対応の基本（受ける） 29 電話対応の応用（かける） 30 他社への訪問・受付 31 自社への来客対応 32 中間ロールプレイ②（応対編） 33 提案する・意見を述べる 34 依頼する（社内・社外） 35 交渉する・条件の変更 36 クッション言葉と断り方 37 ミス・トラブルの報告 38 他社への謝罪・お詫び 39 総合ビジネス演習 (1) 40 総合ビジネス演習 (2) 41 総復習 42 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネス行動論Ⅱ		英語名	Business behavior Ⅱ		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 □	3 単位		履修区分	必修
授業概要	「ていねいに読む」「すばやく読む」「聞く」のインプット活動を通して知識や表現を身につけその上で、「発表」「ディベート」「ディスカッション」「レポートや記事の執筆」などのアウトプット活動に取り組み、客観的な説明力や論理的な意見の展開力を養います					
到達目標	発表やディベート、記事の執筆などのアウトプット活動を実践し、客観的に自分の意見を述べるができるようになる					
成績評価方法	☑ 筆記テスト □ レポート ☑ 課題 □ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	商品開発		英語名	Merchandise		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☒	2 単位		履修区分	必修
授業概要	商品の企画・開発からリテール（小売）の店頭や消費者の手元へと至るまでの一連のプロセスを体系的に学びます。市場環境の分析方法などを実社会の事例を交えながら実践的な知識を習得します。また、グループでビジネスプランを策定、発表します					
到達目標	グループでのビジネスプラン策定・発表を通じて商品開発の流れを体系的に理解する					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 導入・私たちの生活と商品 2 商品の捉え方と技術革新 3 商品開発の意義とライフサイクル 4 商品開発の手順と新しい進め方 5 商品と流通の関わり 6 開発組織と環境分析（マクロ環境） 7 ミクロ環境の分析と情報整理 8 市場調査のプロセスと方法 9 商品コンセプトの策定とアイデア発想 10 ポジショニング・マップと商品企画の提案 11 プロトタイプの作成と評価 12 デザインの技法と商品 13 パッケージデザインの機能と技法 14 グラフィックデザインの機能と技法 15 セールスプロモーションの基本 16 購買心理に基づいたプロモーション事例 17 顧客参加型商品開発とデザイン思考 18 クラウドファンディング 19 ソーシャルメディア 20 売り上げの公式 21 STP 市場細分化 22 損益分岐点 23 ビジネスプレゼンテーションの作り方 24 ビジネスプレゼン準備① 25 ビジネスプレゼン準備② 26 ビジネスプレゼン準備③ 27 プレゼンテーション発表会 28 プレゼンテーション発表会					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	マーケティング		英語名	Marketing		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☒	2 単位		履修区分	必修
授業概要	現代のビジネスおよびリテールの現場に不可欠なマーケティングの本質と、そのマネジメント・プロセスを体系的に学びます。単に商品を販売するだけでなく、「顧客にとっての価値」をどのように創造し、伝え、提供していくのかを、最新の企業事例やリテールトレンドを交えて考察します。					
到達目標	最新の企業事例やトレンドにふれながら顧客にとっての価値を創造し提供する方策を知る					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 マーケティングの本質 2 マーケティング・マネジメントの重要性 3 マーケティング・マネジメントのプロセス 4 PEST分析 5 3C分析・5Forces 6 SWOT分析 7 リサーチのプロセスと情報収集 8 市場細分化 9 ターゲティング 10 ポジショニング 11 製品の概念 12 PLC 13 PB商品 14 3つのC 15 価格政策と心理的価格 16 価格弾力性 17 流通チャネルの役割と構造 18 チャネル政策 19 オムニチャネル 20 プロモーション・ミックス 21 デジタルマーケティング 22 インストア・マーチャндаイジング 23 マーケティング・ミックス 24 KPI（重要業績評価指標） 25 PDCAサイクル 26 ケーススタディ① 27 ケーススタディ② 28 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ホテルマネジメント		英語名	Hotel Management		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☒	3 単位		履修区分	必修
授業概要	「フロント・サービス」および、「レストラン部門」の業務について包括的に学びます。各職種の具体的な業務手順や役割、求められる資質、専門用語を体系的に理解し、現場で活かせる実践的なホスピタリティ・マインドを養うことを目的とします。					
到達目標	ホテルのフロント・サービスおよびレストラン部門の業務手順や役割、専門用語を体系的に理解し、ホテル実務技能認定試験の合格に必要な知識を身につける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーションと料飲部門の概要 2 料飲部門の組織と種類 3 什器・食器・備品類の基礎知識① 4 什器・食器・備品類の基礎知識② 5 リネン類・ワゴン類とスチュワード業務 6 メニューの基礎知識 7 西洋料理の概要とコースの基本 8 西洋料理のフルコース解説① 9 西洋料理のフルコース解説② 10 西洋料理のフルコース解説③と食材 11 西洋料理のテーブルマナー 12 朝食の基本料理とメニュー 13 朝食ビュッフェとサービス 14 日本料理の基礎知識 15 中国料理の基礎知識 16 レストランの役割とサービスの形態 17 レストランサービス概要 18 接客実務① 19 接客実務② 20 サービス技術の基本① 21 サービス技術の基本② 22 フロント・サービスの概要 23 施設理解 24 ドアマンの役割 25 玄関周囲の管理 26 ベルマンの業務概要 27 チェックイン 28 ルーム・インフォメーション 29 チェックアウト 30 客室の種類 31 客室予約の種類 32 予約受付 33 レセプション業務 34 ルーム・アサインメント 35 宿泊中の宿泊条件の変更 36 ナイト業務 37 フロントキャッシャー 38 会計業務 39 インフォメーション業務 40 防犯業務 41 ふりかえり 42 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	企業文化		英語名	Corporate culture		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修
授業概要	日本企業を中心に、組織風土、価値観、行動規範、マネジメントスタイル、働き方などを具体的な事例とともに分析し、他国の企業文化との比較を通じて異文化理解を深めます					
到達目標	日本企業を中心とした組織風土や価値観、働き方などを具体的な事例とともに分析し、自国の文化との違いに気づくことができる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 企業文化とは 2 組織文化と企業理念 3 日本企業の特徴①：終身雇用と年功序列 4 日本企業の特徴②：集団主義とホウレンソウ 5 働き方改革と現代の日本企業 6 グローバル企業と日本企業の違い 7 ケース分析①：トヨタ自動車の企業文化 8 ケース分析②：ユニクロの組織文化 9 ビジネス・マナーと文化の関係 10 日本的リーダーシップと組織運営 11 発表準備① 12 発表準備② 13 発表 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリティ I		英語名	Hospitality I		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修
授業概要	フロント業務、企画・広報、接客の基本、レストランサービス、安全・衛生・施設管理の5分野を網羅し、宿泊・飲食業で働くための実践的な知識を体系的に学びます。					
到達目標	宿泊・飲食業の現場で働くための実践的な知識を体系的に身につけ、特定技能試験の取得を目指す					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 サービスの基本動作 2 服装・身だしなみのルール 3 食事・ドリンクの提供方法 4 食のルールやマナー①「和食」 5 食のルールやマナー②「洋食」 6 食物アレルギーの対応 7 安全衛生管理① 8 安全衛生管理② 9 レストランの専門用語 10 接客の基本「あいさつ」 11 従業員同士のあいさつ 12 接客の基本姿勢と「おじぎ」 13 接客の際の話し方と「敬語」 14 具体的な接客方法① 15 具体的な接客方法② 16 配慮が必要なお客様への接客 17 電話対応のルール 18 クレーム（苦情）対応 19 リスクの理解と回避 20 お客様の安全確保① 21 お客様の安全確保② 22 衛生管理 23 施設管理 24 環境対応（SDGs） 25 フロント業務と予約管理 26 宿泊料金とプランの基礎知識 27 予約時の情報確認 28 キャンセル対応とチェックインの基本 29 チェックイン時の予約確認 30 ルームキーのお渡しと館内案内 31 館内での電話対応と情報提供 32 他部門の業務の把握 33 客室での対応とチェックアウト・会計業務 34 企画業務の概要 35 企画業務の専門用語① 36 企画業務の専門用語② 37 企画業務の専門用語③ 38 広報業務 39 自社ホームページの運用 40 SNSの運用方法 41 試験対策 総復習 42 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリティⅡ		英語名	HospitalityⅡ		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修
授業概要	相手の意図を正確に理解し、自分の考えを論理的かつていねいに伝える実践的なビジネスコミュニケーション能力を育成します。また、BJTの問題形式に慣れながら、「聴く・読む・話す・書く」の4技能を総合的に身に付け、日本の商習慣やビジネスマナー、企業文化への理解を深めます					
到達目標	日本の敬語や遠回しの表現文化を知り、企業で使用される表現を読んだり、聞いたりして理解することができる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 社内一斉メール 2 会議準備 3 電話 4 お詫び 5 お知らせ文書 6 キャッチコピー 7 同僚との雑談 8 値下げ交渉 9 初対面の挨拶、商品説明 10 売り上げに関する状況説明 11 情報セキュリティ対策 12 顧客満足度調査 13 出張日程の調整 14 他者の提案の理解 15 パッケージ案 16 企業へのインタビューの聞き取り 17 取引先への都合の確認 18 企業の経営戦略の聞き取り 19 展示会の案内状の読み書き 20 業務の流れの図式化 21 社内研修の選択、企業の推進策 22 働き方・人事制度 23 SNSマーケティング 24 BJT模擬演習① 25 BJT模擬演習② 26 BJT模擬演習③ 27 BJT模擬演習④ 28 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	異文化理解		英語名	Multicultural Studies		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修
授業概要	日本の日常生活、アルバイト、就職活動、そして職場で実際に起こり得るトラブルをケーススタディ疑似体験します。同時に討論を行うことで自分の考えを論理的かつ適切に伝える力を養い、就職後に職場で円滑な人間関係を築くための「問題発見解決能力」を身に付けます。					
到達目標	日本の日常生活や職場で実際に起こり得るトラブルを知り、問題解決を図ることができるようになる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション 2 明文化されていないルール 3 日本の謝罪文化と自己防衛 4 生活習慣の違いによる摩擦 5 「居留守」という行動 6 プライバシーに対する感覚の違い 7 人間関係の構築プロセス 8 日本語能力の壁による自己表現のギャップ 9 「本音と建前」、忠告の受け取り方 10 日本の接客文化 11 暗黙の指示の読み取り 12 曖昧な指示による労働 13 業務外の食事の誘いへの対応 14 職場の不正行為 15 共同作業に対するアプローチの違い 16 非協力的なメンバーへの働きかけ方 17 目上の人に対する適切な連絡手段 18 組織内の性別役割分業の意識 19 リーダーとしての役割 20 実力主義と年齢・上下関係の摩擦 21 年上の後輩との関係構築 22 将来のキャリア設計 23 就職活動のストレス 24 キャリア観の相違 25 業務外の社内行事への参加 26 ネットリテラシー 27 自身の異文化摩擦体験の発表 28 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	プレゼンテーション	英語名	Presentation		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次	学期	通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位	履修区分	必修
授業概要	ビジネスプレゼンテーション場面において、自分の考えをまとめ、相手に正確に伝えて、相手が正しく理解できるようなプレゼンテーション力を身に着けます。資料や視覚材料を活用し、効果的に自分の意見を伝える方法について学びます。				
到達目標	自分の考えをまとめて相手が正しく理解できるように正確に伝えるプレゼンテーションができるようになる				
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☒ その他（ 発表活動 ）				
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。				
授業計画	1 オリエンテーション 2 聴衆分析 3 話題選び 4 話し手の心得 5 聞き手の役割 6 自己紹介 7 説明力を鍛える① 8 説明力を鍛える② 9 体験談の描写① 10 体験談の描写② 11 知識・情報伝達①ディスカッション 12 知識・情報伝達②ディスカッション 13 質疑応答① ディスカッション 14 質疑応答② ディスカッション 15 スライド操作① 16 スライド操作② 17 スライド操作③ 18 スライド操作④ 19 プレゼンテーマ決め 20 情報収集 21 原稿作成① 22 原稿作成② 23 プレゼン作成① 24 プレゼン作成② 25 予行練習 26 発表① 27 発表② 28 単位認定試験				

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務		英語名	Business Skills		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修
授業概要	実在するグローバル企業のビジネス戦略や企業活動を支える考え方を題材に、ビジネスの側面から各国の文化事情や社会状況を考察します。これに関わる表現活動を通じて、日本企業で求められるコミュニケーション能力や論理的思考力、問題発見・解決能力を高めることを目的とします。					
到達目標	日本企業で求められるコミュニケーション能力や論理的思考力、問題発見・解決能力をつける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション		22 ユニット3 練習②			
	2 ユニット1 前作業		23 ユニット3 タスク①ジグソータスク			
	3 ユニット1 読み物①		24 ユニット3 タスク②ディスカッション			
	4 ユニット1 読み物②		25 ユニット3 タスク③（意思決定タスク）			
	5 ユニット1 練習①		26 ユニット4 前作業			
	6 ユニット1 練習②		27 ユニット4 読み物①			
	7 ユニット1 タスク①ジグソータスク		28 ユニット4 読み物②			
	8 ユニット1 タスク②ディスカッション		29 ユニット4 練習①			
	9 ユニット1 タスク③（意思決定タスク）		30 ユニット4 練習②			
	10 ユニット2 前作業		31 ユニット4 タスク①ジグソータスク			
	11 ユニット2 読み物①		32 ユニット4タスク②ディスカッション			
	12 ユニット2 読み物②		33 ユニット4 タスク③（意思決定タスク）			
	13 ユニット2 練習①		34 ユニット5 前作業			
	14 ユニット2 練習②		35 ユニット5 読み物①			
	15 ユニット2 タスク①ジグソータスク		36 ユニット5 読み物②			
	16 ユニット2タスク②ディスカッション		37 ユニット5 練習①			
	17 ユニット2 タスク③（意思決定タスク）		38 ユニット5 練習②			
	18 ユニット3 前作業		39 ユニット5 タスク①ジグソータスク			
	19 ユニット3 読み物①		40 ユニット5タスク②ディスカッション			
	20 ユニット3 読み物②		41 ユニット5 タスク③（意思決定タスク）			
	21 ユニット3 練習①		42 単位認定試験			

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	簿記 I		英語名	Bookkeeping I		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業	☐	1 単位	履修区分	必修選択
授業概要	全経簿記検定試験 3 級受験を視野に入れた、小規模企業の簿記の仕組みを学ぶ					
到達目標	簿記の基礎的な用語を理解することができる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 簿記って何、財務諸表 2 仕訳・転記 現金と預金 3 商品販売 4 商品販売（仕入諸掛りから） 5 収益と費用 6 借入金と貸付金 7 未収金と未払金 前受金と前払金 8 前受金と前払金 支払い手付金と受け取り手付金 9 仮払金と借受金 10 立替金と預り金 11 復習 12 小口現金 13 振り取り 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	簿記Ⅱ		英語名	Bookkeeping I		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業	☐	2 単位	履修区分	必修選択
授業概要	全経簿記検定試験 3 級受験を視野に入れた、小規模企業の簿記の仕組みを学ぶ					
到達目標	全経簿記検定試験 3 級の取得をめざす					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 消費税の会計処理					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	貿易		英語名	Trading Business		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修選択
授業概要	貿易取引の基本となる「モノ・カネ・カミ」の3つの流れを理解し、市場調査から契約、信用状（L/C）決済、通関、船積みまでの実務プロセスを順立てて学びます。実務で使われる専門用語や貿易英語についても扱います。					
到達目標	貿易の流れを理解し、貿易実務検定C級を受験できるレベルの知識を習得する					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 貿易取引とは？（国内取引との違い） 2 貿易に関わる人々 3 貿易の3つの流れ 4 海外市場調査とマーケティング 5 取引先の見つけ方と信用調査 6 取引の申込み 7 取引交渉から契約成立までの流れ 8 品質条件の決め方 9 数量条件の決め方 10 インコタームズ2020の基礎概念 11 主要なインコタームズ 12 代金回収のリスクと銀行の役割 13 信用状（L/C）の基礎知識 14 信用状（L/C）の発行から通知 15 輸出代金の回収 16 輸出・船積みの準備プロセス 17 船の選定とブッキング 18 海上貨物保険の仕組みと条件 19 通関業者（海貨業者）の役割 20 船積依頼書（S/I）の作成と手配 21 保税地域への搬入 22 輸出通関手続きとNACCS 23 船積み作業と船荷証券（B/L）の発行 24 輸入通関手続きと関税 25 貨物の受け渡し 26 貿易上のトラブル 27 全体の総復習 28 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	計算実務		英語名	Business Calculations		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修選択
授業概要	計算実務3級の問題演習を通してビジネスで必要な様々な計算方法を学び、計算力と時の基礎を理解します。主に経理の仕事に必要な帳票計算・商業計算について学びます。					
到達目標	ビジネスに必要な帳票計算や商業計算を学び、計算実務3級の合格を目指す					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 数字の書き方、伝票計算 2 帳簿の種類 3 仕訳帳の記入① 4 仕訳帳の記入② 5 総勘定元帳① 6 総勘定元帳② 7 仕入帳 8 売上帳 9 商業計算（割合） 10 商業計算（損益） 11 商業計算（利息） 12 答練① 13 答練② 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネスプランニング		英語名	Business planning		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修
授業概要	国内外のスタートアップ企業の新しい動きを参考にして、自ら起業するための事業計画を立案します。後半ではCanvaを使用してプレゼン資料を作成するスキルも学びます。					
到達目標	自ら起業するための事業計画を立案し、さらにCanvaの操作方法も体得する					
成績評価方法	☐ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☒ その他（ プレゼン発表 ）					
成績評価基準	100点満点とし、発表（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	企業研究		英語名	Business research		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修
授業概要	日本の業界,企業,職種について深く理解します。単に情報を集めるだけでなく、求人票を正しく読み解き、自身のキャリアプラン（在留資格の要件を含む）と企業が求める人物像を紐付ける力を養います。また、実際の企業担当者との交流を通じて、ビジネス現場で求められるスキルを体得します。					
到達目標	企業担当者との交流を通じて求められる社会人像を築く					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション 2 日本の産業・業界を知る 3 職種と「BtoB / BtoC」の違いを知る 4 企業の規模と雇用形態 5 求人情報・企業ホームページの読み解き方 6 情報収集ツールの活用 7 【企業連携①】実際の企業担当者による業界・企業説明会 8 企業研究シートの作成（フレームワークの活用） 9 【企業連携②】先輩留学生社員、またはダイバーシティ推進担当者との座談会 10 自己分析と企業研究の紐付け 11 志望動機・自己PRへの落とし込み 12 企業研究を活かした模擬面接（実践練習） 13 これまでのまとめと就活アクションプランの作成 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	経営学概論		英語名	Introductory Management		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修
授業概要	経営学の基礎的知識を修得し、基本的な考えを身につけ、成功企業のケーススタディとともに実践的な知識を養う。企業経営に必要な「企業システム」「経営戦略」「経営組織」「経営管理」「経営課題」等の基礎知識を全般的に学習していきます。					
到達目標	成功企業のケーススタディを通じて経営学の基本的な考え方と実践的な知識を身につける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 マネジメントとは何か					

科目名	ビジネス検定対策 I		英語名	Test Prep I (JLPT①)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修選択
授業概要	日本語能力試験合格を目指し、実践問題を解きながら、自分の弱点を理解し、強化するべく取り組みます。					
到達目標	実践問題を解きながら自身の弱点を理解して強化する					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 文字・語彙対策 2 文字・語彙対策 3 文字・語彙対策 4 文法対策 5 文法対策 6 文法対策 7 文法対策 8 聴解対策 9 聴解対策 10 聴解対策 11 聴解対策 12 読解対策 13 読解対策 14 読解対策 15 読解対策 16 模擬試験・解説 17 模擬試験・解説 18 模擬試験・解説 19 模擬試験・解説 20 模擬試験・解説 21 単位認定試験					

※2科目履修で3単位認定

科目名	ビジネス検定対策 I		英語名	Test Prep I (JLPT②)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修選択
授業概要	日本語能力試験の出題形式に沿った演習問題で、文字語彙・文法・読解・聴解の基礎的な力を養います。					
到達目標	JLPTの試験形式に慣れ、問題ごとの解法を身につける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 文字・語彙・聴解演習 2 文字・語彙・聴解演習 3 文字・語彙・聴解演習 4 読解・聴解演習 5 読解・聴解演習 6 読解・聴解演習 7 文字語彙模擬試験・解説 8 聴解模擬試験・解説 9 読解模擬試験・解説 10 文字語彙模擬試験・解説 11 聴解模擬試験・解説 12 読解模擬試験・解説 13 文字語彙模擬試験・解説 14 聴解模擬試験・解説 15 読解模擬試験・解説 16 模擬試験・解説 17 模擬試験・解説 18 模擬試験・解説 19 模擬試験・解説 20 模擬試験・解説 21 単位認定試験					

※2科目履修で3単位認定

科目名	ビジネス検定対策 I		英語名	Test Prep I (TOEIC)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修選択
授業概要	TOEIC受験に向けての対策を行い、スコアアップを目標にします。各Part のTOEICの問題形式に慣れながら、500～600点のスコアを目指します。					
到達目標	TOEICの問題形式に慣れ、受験に必要な基礎的な英語力をつける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 Unit1 Restaurant Part1-Part5 2 Unit1 Restaurant Part6-7 3 Unit2 Department Store Part1-Part5 4 Unit2 Department Store Part6-7 5 Unit3 Train Station Part1-Part5 6 Unit3 Train Station Part6-7 7 Unit4 Transportation Part1-Part5 8 Unit4 Transportation Part6-7 9 Unit5 Post Office Part1-Part5 10 Unit5 Post Office Part6-7 11 Unit6 Bank Part1-Part5 12 Unit6 Bank Part6-7 13 Unit7 Airport Part1-Part5 14 Unit7 Airport Part6-7 15 Unit8 Hotel Part1-Part5 16 Unit8 Hotel Part6-7 17 Unit9 Hospital Part1-Part5 18 Unit9 Hospital Part6-7 19 模擬試験・解説 20 模擬試験・解説 21 単位認定試験					

※2科目履修で3単位認定

科目名	ビジネス検定対策Ⅱ		英語名	Test PrepⅡ（JLPT①）		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修選択
授業概要	日本語能力試験合格を目指し、実践問題を解きながら、自分の弱点を理解し、強化するべく取り組みます。					
到達目標	実践問題を解きながら自身の弱点を理解して強化する					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 文字・語彙対策 2 文字・語彙対策 3 文字・語彙対策 4 文法対策 5 文法対策 6 文法対策 7 文法対策 8 聴解対策 9 聴解対策 10 聴解対策 11 聴解対策 12 読解対策 13 読解対策 14 読解対策 15 読解対策 16 模擬試験・解説 17 模擬試験・解説 18 模擬試験・解説 19 模擬試験・解説 20 模擬試験・解説 21 単位認定試験					

※2科目履修で3単位認定

科目名	ビジネス検定対策Ⅱ		英語名	Test Prep Ⅱ (JLPT②)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修選択
授業概要	日本語能力試験の出題形式に沿った演習問題で、文字語彙・文法・読解・聴解の基礎的な力を養います。					
到達目標	JLPTの試験形式に慣れ、問題ごとの解法を身につける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 文字・語彙・聴解演習 2 文字・語彙・聴解演習 3 文字・語彙・聴解演習 4 読解・聴解演習 5 読解・聴解演習 6 読解・聴解演習 7 文字語彙模擬試験・解説 8 聴解模擬試験・解説 9 読解模擬試験・解説 10 文字語彙模擬試験・解説 11 聴解模擬試験・解説 12 読解模擬試験・解説 13 文字語彙模擬試験・解説 14 聴解模擬試験・解説 15 読解模擬試験・解説 16 模擬試験・解説 17 模擬試験・解説 18 模擬試験・解説 19 模擬試験・解説 20 模擬試験・解説 21 単位認定試験					

※2科目履修で3単位認定

科目名	ビジネス検定対策Ⅱ		英語名	Test Prep Ⅱ (TOEIC)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修選択
授業概要	TOEIC受験に向けての対策を行い、スコアアップを目標にします。最初にTOEIC® L&R形式のミニテストにチャレンジします。その後類似したミニテストを解きます。頻出語彙を毎回100個程度学習し、語彙の定着も図ります。					
到達目標	TOEICのPart別の解法テクニックを身につける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 Unit1 2 Unit2 3 Unit3 4 Unit4 5 Unit5 6 模擬試験・解説 7 Unit6 8 Unit7 9 Unit8 10 Unit9 11 Unit10 12 Unit11 13 Unit12 14 Unit13 15 Unit14 16 Unit15 17 模擬試験・解説 18 模擬試験・解説 19 模擬試験・解説 20 模擬試験・解説 21 単位認定試験					

※2科目履修で2単位認定

科目名	ビジネス検定対策Ⅲ		英語名	Test PrepⅢ (JLPT)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修選択
授業概要	日本語能力試験合格を目指し、実践問題を解きながら、自分の弱点を理解し、強化するべく取り組みます。					
到達目標	実践問題を解きながらより上位のJLPTの試験に挑戦できる力をつける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 実戦問題・解説 2 実戦問題・解説 3 実戦問題・解説 4 実戦問題・解説 5 実戦問題・解説 6 実戦問題・解説 7 実戦問題・解説 8 実戦問題・解説 9 実戦問題・解説 10 実戦問題・解説 11 実戦問題・解説 12 実戦問題・解説 13 実戦問題・解説 14 単位認定試験					

※2科目履修で2単位認定

科目名	ビジネス検定対策Ⅲ		英語名	Test PrepⅢ (BJT)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修選択
授業概要	ビジネスで必要な語彙力を強化し、BJTの問題形式に沿った演習を行いながらスコア400点獲得を目指します					
到達目標	より上位レベルのJLPT合格を目指す					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 実戦問題・解説 2 実戦問題・解説 3 実戦問題・解説 4 実戦問題・解説 5 実戦問題・解説 6 実戦問題・解説 7 実戦問題・解説 8 実戦問題・解説 9 実戦問題・解説 10 実戦問題・解説 11 実戦問題・解説 12 実戦問題・解説 13 実戦問題・解説 14 単位認定試験					

科目名	ビジネス検定対策Ⅲ		英語名	Test Prep Ⅲ (TOEIC)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修選択
授業概要	TOEICの出題形式に沿った問題演習を行いながらスコアアップを目標にします。					
到達目標	時間配分に気を付けながら、TOEICのスコアアップを目指す					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 Unit1 2 Unit2 3 Unit3 4 Unit4 5 Unit5 6 模擬試験・解説 7 Unit6 8 Unit7 9 Unit8 10 Unit9 11 Unit10 12 Unit11 13 Unit12 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネス検定対策Ⅳ		英語名	Test PrepⅣ(JLPT)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修選択
授業概要	日本語能力試験合格を目指し、実践問題を解きながら、自分の弱点を理解し、強化するべく取り組みます。					
到達目標	実践問題を解きながらより上位のJLPTの試験に挑戦できる力をつける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 実戦問題・解説 2 実戦問題・解説 3 実戦問題・解説 4 実戦問題・解説 5 実戦問題・解説 6 実戦問題・解説 7 実戦問題・解説 8 実戦問題・解説 9 実戦問題・解説 10 実戦問題・解説 11 実戦問題・解説 12 実戦問題・解説 13 実戦問題・解説 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネス検定対策Ⅳ		英語名	Test PrepⅣ(BJT)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業	☐	1 単位	履修区分	必修選択
授業概要	ビジネスで必要な語彙力を強化し、BJTの問題形式に沿った演習を行いながらスコア400点獲得を目指します					
到達目標	より上位レベルのJLPT合格を目指す					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 実戦問題・解説 2 実戦問題・解説 3 実戦問題・解説 4 実戦問題・解説 5 実戦問題・解説 6 実戦問題・解説 7 実戦問題・解説 8 実戦問題・解説 9 実戦問題・解説 10 実戦問題・解説 11 実戦問題・解説 12 実戦問題・解説 13 実戦問題・解説 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	ビジネス検定対策Ⅳ		英語名	Test Prep Ⅳ (TOEIC)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修選択
授業概要	TOEICの出題形式に沿った問題演習を行いながらスコアアップを目標にします。					
到達目標	時間配分に気を付けながら、TOEICのスコアアップを目指す					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 模擬試験・解説 2 模擬試験・解説 3 模擬試験・解説 4 模擬試験・解説 5 模擬試験・解説 6 模擬試験・解説 7 模擬試験・解説 8 模擬試験・解説 9 模擬試験・解説 10 模擬試験・解説 11 模擬試験・解説 12 模擬試験・解説 13 模擬試験・解説 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザイン I		英語名	Career Development I		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修
授業概要	いろいろな業界・分野の見聞を深め、将来のキャリアプランを立てます。また就職活動の最初のステップとなる自己分析を行います。					
到達目標	就職活動の第一歩となる自己分析を通じて自身の強みを知る					
成績評価方法	☐ 筆記テスト ☒ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 キャリアプランの大切さを知ろう 2 「働く」ってどんなこと？ 3 人生のマネープランを立てよう 4 専門学校での2年間をどう過ごす？ 5 将来のことを考えるための自己理解 6 自分の強みを見つけよう① 7 自分の強みを見つけよう② 8 社会人基礎力① 9 社会人基礎力② 10 業界と職種① 11 業界と職種② 12 業界と職種③ 13 振り返り 14 レポート提出・フィードバック					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザイン II		英語名	Career Development II		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修
授業概要	就職活動の準備として、ハローワークや就職情報会社の担当者から最新の就職環境状況をレクチャーしてもらい、目指す業界・企業の研究、職種の適性の研究を行います。最終的に自己PR・志望動機の作成を目指します。					
到達目標	最終的に自己PRおよび志望動機を作成する					
成績評価方法	☐ 筆記テスト ☒ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 就職活動の流れを知ろう 2 スケジュールを考えよう 3 ハローワークに登録してみよう 4 ハローワーク講座① 5 求人情報収集① 6 求人情報収集② 7 企業説明会に参加しよう 8 企業説明会に参加しよう 9 企業説明会に参加しよう 10 ハローワーク講座② 11 求人票の見方 12 求人票の見方 13 求人票の見方 14 エントリーとは 15 面接対策① 16 面接対策② 17 企業説明会に参加しよう 18 企業説明会に参加しよう 19 ハローワーク履歴書作成講座 20 自己PR作成 21 自己PR作成 22 自己PR作成 23 志望理由作成 24 志望理由作成 25 志望理由作成 26 履歴書作成 27 履歴書作成 28 履歴書作成					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザイン Ⅲ		英語名	Career DevelopmentⅢ		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☒	3 単位		履修区分	必修
授業概要	まず、1年次の復習を兼ね、職業と在留資格、就職へのスケジュール、就職試験の内容等を確認します。その後外国人雇用センターの講演、企業担当者との接点を組み入れ意識づけを行います。さらに給与・社会保険制度を学びながら、就職活動に関するさまざまな対策を実習します。					
到達目標	給与・社会保険制度の理解や就職活動に向けた実践的な対策を知る					
成績評価方法	☐ 筆記テスト ☒ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 キャリアシートの記入 22 体験実習 2 日本の就職事情 23 体験実習 3 給与のしくみとマイナンバー 24 【講話】企業担当者 4 給与のしくみと社会保険制度 25 【講話】企業担当者 5 服装・化粧・髪型等身だしなみ 26 進路指導 6 就職活動の用語説明と理解 27 進路指導 7 就職試験の内容・流れ 28 進路指導 8 求人票の見方の説明 29 進路指導 9 企業へのアプローチ方法 30 進路指導 10 会社説明会・業界研究会等への参加 31 進路指導 11 販売職・営業職・事務職の仕事内容 32 進路指導 12 宿泊・飲食等サービス職の仕事内容 33 進路指導 13 志望動機の良い例・悪い例 34 進路指導 14 自己PRの良い例・悪い例 35 進路指導 15 履歴書をブラッシュアップする① 36 【講話】企業担当者 16 履歴書をブラッシュアップする② 37 【講話】企業担当者 17 面接試験の重要性 38 【講話】企業担当者 18 面接での態度・行動・答え方 39 内定後の流れ 19 面接試験の注意点 40 在留資格変更手続きについて 20 【講話】企業担当者 41 入社後の流れ 21 【講話】企業担当者 42 指定課題によるレポート					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	第二外国語（韓国語）	英語名	Foreign language (Korean)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次	学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位	履修区分	必修選択
授業概要	韓国語文法の基礎を学びます。レッスンごとに「基本フレーズ」「応用フレーズ」を通して文法を学び、さらに「パワーアップ問題」をとくことで、しっかり知識を身につけていきます。				
到達目標	外国語文法の基礎を学びながらその国の文化についても理解を深める				
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）				
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。				
授業計画	1 基礎トレーニング① 2 基礎トレーニング② 3 基礎トレーニング③ 4 ～です、～ですか、～ではありません 5 ～います、～あります、いません、ありません 6 します 7 数字、日付 8 いくらですか、数詞、時刻 9 ～します（口語体） 10 ～できない 11 ～しました、～でした 12 ～しませんでした 13 復習 14 単位認定試験				

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	第二外国語（中国語）		英語名	Foreign language (Chinese)		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修選択
授業概要	かんたんな会話を聞きながら、中国語の発音に慣れます。日常会話で使うテーマや場面を使って初歩的な会話ができることを目指します。					
到達目標	外国語文法の基礎を学びながらその国の文化についても理解を深める					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション 2 教室の言葉 3 挨拶① 4 挨拶② 5 質問する① 6 質問する②、数字の言い方 7 自己紹介 8 家族 9 他己紹介 10 好きな食べ物 11 食べ物・飲み物の名前 12 振り返り① 13 振り返り② 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	校外研修		英語名	School excursion		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	選択
授業概要	業界や教育界に、座学では学習できない最前線の状況を実際に見学することで、体系的に体得する校外学習型授業です。研修内容、時期、研修場所は別途設定します。					
到達目標	日本の文化や企業文化を体験し、将来の自分のキャリア構築に生かす					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 研修① 事前学習 2 研修① 3 研修① 4 研修① 5 研修① 6 研修① レポート提出 7 研修② 事前学習 8 研修② 9 研修② 10 研修② 11 研修② 12 研修② 13 研修② 14 研修② レポート提出					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	キャリア探求Ⅰ		英語名	Career explorationⅠ		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		1 年次		学期	通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	選択
授業概要	留学生が、早期から日本のビジネス社会や様々な業界への理解を深めるための科目です。多くの企業採用担当者から「業界のリアルな動向」や「求める人物像」を直接聞くことで、専門学校での学びと将来のキャリアを結びつけます。また、日本の就活ルールやビジネスマナーの基礎を身につけます					
到達目標	企業担当者の話を聞き、日本の就活ルールやビジネスマナーの具体的なイメージを持つことができる					
成績評価方法	☐ 筆記テスト ☒ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 日本の就活スケジュール 2 留学生のキャリアステップと在留資格の差 3 企業のプロから学ぶための「話を聴くマナー」 4 企業説明会① 5 企業説明会② 6 企業説明会③ 7 仕事の「職種」を知る 8 企業説明会④ 9 企業説明会⑤ 10 企業説明会⑥ 11 早期の自己分析ワーク 12 自己PRベース 13 インターンシップの探し方 14 レポート作成・提出					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	キャリア探求Ⅱ		英語名	Career exploration Ⅱ		
学科・コース	国際経営ビジネス学科		2 年次		学期	通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	選択
授業概要	留学生が、さまざまな業界の企業採用担当者から直接話を聞くことで、日本のビジネス社会や各業界の実態を深く理解します。採用選考で重視されるポイントを学び、自己分析や企業研究と結びつけることで、内定獲得に向けた具体的な就職活動の基盤を築くことを目的とします。					
到達目標	採用選考で重視されるポイントを自己分析や企業研究と結びつけることができるようになる					
成績評価方法	☐ 筆記テスト ☒ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション&日本の就活のリアル 2 自己分析と「留学生としての強み」 3 企業説明会の聴き方と質問マナー 4 企業説明会① 5 企業説明会② 6 企業説明会③ 7 中間振り返りとマッチング分析 8 企業説明会④ 9 企業説明会⑤ 10 企業説明会⑥ 11 企業研究のまとめと志望動機の作成 12 選考対策 13 模擬面接とフィードバック 14 レポート作成・提出					